

1. 指導計画案

■授業展開例 1（週 1 時間の場合）

週に 1 時間と想定し，1 レッスンあたりの配当時間を 2 時間とした。

1 時間目：Expression Input, Model Dialog (pp. 27-28)

2 時間目：Writing Output, Give It a Shot, Grammar Compass (pp. 30-31)

1 時間目

	指導手順	留意事項	時間
1	Expression Input (p. 27) ①教師が英語でシチュエーションを説明し，それから CD を聞かせる。 ②CD を聞かせながら，解答を確認する。 ③もう一度 CD を聞かせながら，側注に挙げられた表現を中心に解説をする。	トピックに関する重要表現を，リスニングを通して確認させる。側注で挙げられているものは，しっかり定着させたい。 教科書②では，リスニングによって p.28 の Model Dialog の概要をつかませる。	15 分
2	Model Dialog (p. 28) ①CD を聞かせる。(回数は 2 回内外。) ②CD を聞かせながら，Comprehension の問いを解かせ，解答を確認する。 ③Function および Grammar に挙げられた箇所を中心に解説をする。 ④側注 Sounds について解説したうえで，教師の後に付いて音読練習をさせる。	レッソンのコアとなる部分であり，内容理解だけでなく，扱われている文法表現や機能表現にも注目させたい。音声面での注意点もふまえて，しっかり音読をさせたい。時間に余裕があれば，その後ペアで練習し，さらに数ペアに発表させたい。	35 分

2. 観点別評価規準案

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> •Expression Input で読まれた英文を聞き取ろうとしている。 •Model Dialog を読み取り，文の構成を理解しようとしている。 •クラブ活動について友人に伝えようとする意欲を持っている。 •現在完了形の意味と使い方を理解し，表現しようとしている。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> •Speaking Output において，クラブ活動について友人と意見交換ができる。 •希望を述べることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> •現在完了形を使って文を書くことができる。 •hope を正しく用いて，希望を述べることができる。 •Model Dialog の日本語訳を見て，対応する英文を書くことができる。 •クラブ活動に勧誘する文が書ける。 •Practice の問題を解くことができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> •現在完了形の各用法の意味や働きを理解している。 •クラブ活動について，日米の違いを説明できる。

授業計画案と観点別評価規準案をテキストデータで掲載しました。